

令和 4 年 4 月 1 日付新規採用者 (32 名) の記念撮影



春季号

令和 4 年 4 月発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 TEL (代表) 03-3334-2101
<https://www.yokufukai.or.jp/>
 【編集者】浴風会本部事務局 浅井 敏男

ウィズコロナの新たな時代を迎え

日本社会事業大学 教授 壬生 尚美



本学の清瀬キャンパスは、3月に入り梅の花がようやく咲き始め、春の訪れを感じさせる今日この頃です。新型コロナウイルス感染症も3年目の春を迎えます。浴風会では、これまで以上に健康管理を徹底し、行動制限、消毒作業、マスク・手洗いなど感染予防対策に追われる日々をお過ごしのこととされます。そのような中、より良い生活の営みを支援する浴風会のお便りは、ほっこりとさせられます。

強い信念と、様々な工夫や創造性を感じさせられます。介護は Well-being を目指し、工夫に工夫を重ね探求し、生活を創造し続けていく実践活動です。

することを課題としています。使用にあたっては、工夫を重ねより安全に安心して使用できる方法を、探求していく必要性があります。

「毎月恒例の出前寿司を召し上がりました」「懐かしい黒ひげ危機一髪を楽しみました」「毎年少しずつ作っているつるし雛も年々数が増えて賑やかになってきました」「ヨガ・作品作り・脳トレ等色々レクレーションの機会を設けています」「今日は昭和の時代を感じる絵の間違い探し、時間の計算問題、面積を求める問題、一筆書きを行いました」等々。

ウィズコロナの新たな時代を迎え、『新しい生活様式』に対応するための商品やサービスなどが開発されています。これまでの生活を維持・創造するためには、人工知能 (Artificial Intelligence: AI) や情報通信技術 (Information and Communications Technology: ICT) を駆使し、有効活用することによって新たな可能性が拓かれます。介護労働安定センターの令和2年調査によれば、介護ロボットを導入していない施設は、80・6%にのぼり、ここ数年の導入率はそれほど変わりません。介護ロボットの使用目的を明らかにし、ご利用者や職員の皆様、並びに施設環境等の状況をアセスメントし、適合する介護ロボットを選定

ウィズコロナの新たな時代を迎えることになりました。教育・研究・実践が一体となり介護の未来を拓いていくことが大切です。

このたび、コロナ禍で延期していた本学の介護実習をお引き受けいただき誠にありがとうございます。将来の介護福祉士として、確かな実践につながる貴重な体験になります。どのような気づきや成長が見られるか楽しみです。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。(当会評議員)

このたび、コロナ禍で延期していた本学の介護実習をお引き受けいただき誠にありがとうございます。将来の介護福祉士として、確かな実践につながる貴重な体験になります。どのような気づきや成長が見られるか楽しみです。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。(当会評議員)

このたび、コロナ禍で延期していた本学の介護実習をお引き受けいただき誠にありがとうございます。将来の介護福祉士として、確かな実践につながる貴重な体験になります。どのような気づきや成長が見られるか楽しみです。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。(当会評議員)

令和四年度の 事業実施にあたって

業務執行理事（本部事業担当）

小河 芳弘



今年の冬は例年になく寒い冬になりました。東京では一月の平均気温が四年ぶりの低さだったようです。北海道や北陸では記録的な大雪にも見舞われました。地球の温暖化はますます深刻な気候変動をもたらしています。また、コロナ感染は、オミクロン株が第六波をもたらし、爆発的な感染拡大を引き起こし、経済活動に深刻な影響を及ぼしています。更に東欧では、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、激しい戦闘が繰り広げられるなど、二〇二二年は激動の始まりとなっていました。

気候も穏やかとなった春を迎え、コロナ禍や戦争が早く終息し、安心した生活に戻る年になることを期待するばかりです。

さて、令和四年度の当会事業計画では、令和二年に策定された中期事業計画（二年度から六年度）の中間年に当たることから、その進捗状況を検証し、残された課題に取り組んでいくことにしています。特に、職員の人材確保と病院業績の好転は喫緊の課題となっています。前者については、専任担当者を配置して職員採用の一元化を行うことにより、安定した人材の確保を図ることにしています。後者の病院業績については、令和二年度に策定した「病院事業経営改善計画」に基づき、順次改善を進めてきましたが、更なる経営改善を加速させるため、専任の経営改善担当者を配置し、診療加算の取得や治療材料等契約内容の見直しによるコスト削減を強力に進めることにしています。

3年目のコロナ禍

業務執行理事・浴風園長

小田島 明



コロナ禍も2年を超え、老人福祉事業3施設（養護老人ホーム浴風園、軽費老人ホーム松風園、ケアハウス）のご利用者の皆様にはこれまで行事・クラブ活動の制限、不要不急の外出自粛等、不自由で窮屈な生活をお願いしておりました。ご協力に心から感謝申し上げます。まだしばらく続くと思われるですが、コロナ禍も3年目となり、ワクチン接種をはじめ、治療薬の普及等により少しずつですが状況は変化してきています。

そこで、今年度は我慢のみではなく、感染症の予防策を講じながら行事やクラブ活動、ボランティア・実習生の受入れや近隣小・中学生等の職場体験活動等の地域交流といった諸活動を実施する体制へとシフトできればと考えています。コロナ禍以前に当たり前にしていたこと、当たり前に交流してきた人々との絆、これらを少しでも取り戻せればと思うところでです。

また、昨年度までに地震等の災害時及び感染症の集団発生を想定したBCPを策定していますが、今年度も情勢変化等に応じた見直しを実施して行きます。

当たり前のことではありますが、老人福祉事業のご利用者は自立した生活を営んでおられる方々ですから、皆様の多様なニーズに応え、一人一人の生活に楽しさと安心を実感していただくよう今年度もサービスを提供して行きます。

令和四年度にあたって

業務執行理事・南陽園長

植木 雄治



浴風会の特別養護老人ホーム三施設では、この間無線通信環境の整備と各種ICT機器・介護ロボットの導入を進めてまいりました。一部にはこうしたデジタルテクノロジーを活用して業務を効率化すれば、介護職員不足を補えるのではないかと考える向きもあるようです。確かに昨今のデジタルテクノロジーの性能に感心させられる事もあります。しかしそれで介護職員の代わりが務まるかというとはなはだ疑問で、残念ながら21世紀の今日でも専門的な介護職員に代わって介護サービスを提供できる介護ロボットは存在しません。高性能なセンサーで業務が効率的に行えたとしても、機器を管理するのも、センサーをモニターし、対応するのも人である事に変わりありません。

三施設におけるデジタルテクノロジー導入の目的はご利用者・職員の負担軽減を目的としています。その意味では人材の確保と育成は依然重要なテーマであり続けます。

今年度、特別養護老人ホーム三施設では、導入された各種ICT機器・介護ロボットの一層の活用に向けて、活用の実態を精査し、効率化に役立つ活用事例などを調査、共有していこうと考えています。ご利用者にとっても、職員にとっても快適に、今できることを精一杯にと考えています。

新年度にあたって

業務執行理事・
浴風会病院長
伊藤 嘉憲



新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）のパンデミック宣言から2年。強い感染力を持つオミクロン株が年明けから猛威を振るい始め、当院でも散発的に陽性者が確認されており、その都度緊急に接触者検査を実施するなど感染拡大防止に全力を注いでおります。コロナに関する取り組みとして、昨年10月から発熱外来を本格的に開始しました。核酸検出検査（LAMP法）、抗原定量検査により当日のうちにコロナ感染の有無をお伝えできる体制を整えております。またワクチン接種事業では、延べ約1万4千回の接種を実施しました（2月末現在）。これからも自治体および近隣医療機関と緊密に連携しつつ、コロナに強い地域づくりに貢献してまいります。

ところで、今後の医療政策の方向性を示す診療報酬改定がこのたび実施されました。2年毎に行われる改定ですが、今回は当院にとって影響の大きい内容となっています。入院医療に関しては、当院のもつ地域包括ケア病棟、療養病棟、回復期リハビリテーション病棟それぞれの機能をより一層高めていくことが求められています。たとえば地域包括ケア病棟の場合、現在でも平日日中を中心に緊急入院に対応しておりますが、今後さらに救急体制の充実を図る必要があります。摂食・嚥下機能向上のための支援体制の整備も重要課題となります。今回の改定を機に、当院が地域において果たすべき使命があらためて問われているものと認識しています。

引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本人の意思を尊重する

業務執行理事
認知症介護研究・研修
東京センター長 山口 晴保



新型コロナウイルス感染症で二〇二一年度は認知症介護指導者研修を断念し、認知症地域支援推進員研修はウェブ開催となりました。二〇二二年度は認知症地域支援推進員研修を、従来のような集合型とZoomミーティングによるウェブ参加型で実施する予定です。指導者研修も感染対策を行いながら実施する予定です。新しい社会環境に対応して少しずつ進化していきます。

二〇二一年に長谷川和夫名誉センター長が生涯を閉じられました。ご冥福をお祈りします。長谷川先生は初代センター長としてパーソン・センタード・ケアの全国普及に貢献してこられました。新年度は、このパーソン・センタード・ケアをさらに深めていきます。本人の声に耳を傾け、言葉・仕草・態度・姿勢・行動などで本人が発するサインを見逃さず、本人の気持ちを理解し、本人と介護者が良好な関係性の中で共にウェルビーイングである認知症ケアこそが真のパーソン・センタード・ケアです。このような認知症ケアの普及に、認知症介護研究・研修東京センターが貢献したいと考えております。

本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

●幹部人事

(令和 4 年 3 月 31 日)

退職

地域サービス部 部長 遠藤 雅晴
第三南陽園 園長 榊 美智子
老健くぬぎ 施設長 和 田 玲
ケアスクール 校長 服 部 安子
本部研修企画部 部長 宮 島 敏

(令和 4 年 4 月 1 日付)

採用

地域サービス部 部長 有坂 幹朗
老健くぬぎ施設長 渋谷 一行
第三南陽園 園長 澤田 猛

昇任

浴風会病院 副院長 雨宮 志門

●役員の異動(令和 3 年 4 月 1 日付)

地域サービス事業担当業務執行理事

就任 小川 芳弘

退任 遠藤 雅晴

●兼任

就任 遠藤 雅晴

●幹部名簿(令和 4 年 4 月 1 日付)

理事長 寺尾 徹

本部事業担当業務執行理事 小川 芳弘

本部事務局長 浅井 敏男

人事部長 赤坂 浩

財務部長 小原 英嗣

老人福祉事業担当業務執行理事 小田 島 明

浴風園長 小田 島 明

松風園長 村上 和夫

ケアハウス園長 中澤 雄一

介護保険事業担当業務執行理事 植木 雄治

第二南陽園長 植木 雄治

第三南陽園長 石渡 博幸

地域サービス事業担当業務執行理事 小川 芳弘 *兼任

地域サービス部長 有坂 幹朗

病院事業医療担当業務執行理事 伊藤 嘉憲

病院事業事務担当業務執行理事 宮本 智

浴風会病院長 伊藤 嘉憲

副院長 宮澤 あかね

副院長 雨宮 志門

事務局長 宮本 智

看護部長 佐野 廣子

老健くぬぎ施設長 渋谷 一行

認知症介護研究・研修東京センター事業

担当業務執行理事

センター長 山口 晴保

副センター長 山口 晴保

運営部長 永田 久美子

家田 康典

長谷川先生からの宿題

認知症介護研究・研修東京センター

副センター長 永田 久美子

昨年11月13日、当センターの長谷川和夫名誉センター長が永眠された。享年92歳。3週間前から体調を崩し浴風会病院に入院。医師やスタッフの方々の懸命な治療やケアを受けながら、ご家族のお話しによると最期は苦しまずに大往生だったという。

訃報に触れて、「先生がいなくなってしまうた・・・」、という言いようもない空虚感と悲しみがこみあげてきた。と同時に、先生がいつも仰っていた「今を自分らしく生きる」を、まさに先生ご自身が身をもつてやり遂げて、あの世に旅立たれたんだなあと、その鮮やかな生き方に清々しさのようなものさえ感じた。

先生は認知症医学の草分けとして一九六〇年代から研究を始め、一九七四年に現在でも広く使われている「長谷川式簡易知能評価スケール」を開発。その後、認知症の診断や治療と同時に、本人と家族にはケアが大切という強い信念を抱かれ、一九八〇年頃から聖マリアンナ医大病院で先駆的なデイケアを開始。本人が病気はあっても「生きる喜びを実感しながら心豊かな暮らしを」と、院内で本人と家族の「フロイデンコリア（喜びの合唱）」を結成するなど、「今はまだないけど、本人と家族に必要なこと」を創りだし続けてこられた。

そして医大を退官後の二〇〇〇年。介護保険制度が始まったこの年に、厚生労働省が認知症ケアの研究と人材育成の拠点として設置した当センターの初代センター長として着任された。まだ今の東京センターの建物がなく、浴風会本館を入ってすぐのお部屋に開設準備室が置かれ、先生は浴風会の素晴らしい環境の中でセンター構想を練り上げていかれた。私も当初から関わらせていただくことができた。先生は「人

なんだよ。医療やケアをどうするかの前に、人としてどう生きていけるか。それを考える研究や人材育成をしていこう」、「未知数だよ。認知症になってからも、心は生きていて、どう心豊かに生きていけるか、そこをやろうよ」と連日、熱っぽく語っておられた。

先生はそのビジョンを、センターが始動してから認知症介護指導者研修に参集したケア現場の職員さんたちに、そして二〇〇四年から当センターが始めた認知症になってからも自分らしく暮らせる「まちづくり」に取組む自治体の職員さんや関係者の方々に、繰り返し繰り返し、先生ご自身のことばで語りかけ続けてこられた。

センター開設以来、立場や職種を越えてどれほど多くの人たちが、先生の言葉によって目を開き、本人の声に耳を澄ましながら、本人とともに暮らしと地域をよりよく創りだしていくチャレンジを始めるようになったことか。

先生は、ビジョンは絵に描いた餅ではなく、日々の暮らしの小さなことの中にこそあり、理不尽なことが多い現実の中でも、あきらめないでビジョンを日々の中で現実のものにしようという力を尽くしている人たちを心から尊敬しておられた。その人たちが語る実践の話を、目をくりくりさせながら本心にうれしそうにお聴きになられ、現場の人たちから学び続けておられた。

先生は、相手が誰であつても分け隔てなく、大切なことを伝えたい・語りあいたい、という姿勢を貫かれ、浴風会に前の天皇皇后ご夫妻がお越しになった時も、それは同じだった。写真は当センターの1階奥にある「なじみの環境作り」の一室での一コマだ。先生の言葉にお二人が聴き入られ、話しが弾んだ。わずか数分の予

定だったのが大幅に延長してしまいハラハラしたが、周りの方々も先生の話しに耳を澄まして、みんながとても楽しそうにされておられたのが印象深い思い出となっている。



ありし日の長谷川和夫先生

(上皇上皇后両陛下 行幸啓ご案内様子)

平成 17 年 7 月 21 日)

先生は、ご自身が認知症になられた後も、「なつてみてはじめてわかることばかり」、「よりよく生きて死んでいくために」と体験をリアルな言葉にされ、様々な人々との対話を続け、最期まで尽きない可能性を私たちに示して下さいました。

センターが開設されてから22年目。この間、認知症に関する知識や技術、制度、そして社会の意識が大きく進展し、今後さらに急ピッチでの拡充が求められている。様々なサービスや取組が増えている中で、「本当に、本人と家族が求めていることがあるのか」、「心豊かに今を生きていくことができるのか」、「心豊かに今を生かすか」。長谷川先生は私たちに大切な宿題のバトンを託して、旅立っていかれたのだと思う。

浴風会の動き

(1月～3月)

【本部事務局】

1月

4日 採用辞令交付 (6名)

14日 法人創立記念式典「永年

勤続者表彰及
び利用者構内
ボランティア
への感謝状・
記念品を贈
呈」30年勤続者
5名20年勤続者
13名これからも
よろしく
お願いします!!

法人創立記念式典 永年勤続者表彰集合写真

2月

1日 採用辞令交付 (4名)

3月

1日 採用辞令交付 (4名)

11日 法人内部予算審査会開催

28日 「令和3年度東京都教育
委員会事業貢献企業等に対する表
彰」により感謝状を受贈

同日 第4回理事会開催

「4年度事業計画・収支予算」、「給
与規程改正」、「執行理事及び施設
長等人事」、「参与の委嘱」について
承認

31日

定年4名、経営職3名 (大谷)

浴風会ケアスクール

1月

介護職員初任者研修18期生スクーリ
ング。参加者19名

2月

介護職員初任者研修18期生修了式16
名修了。定期開催の「よくふう語ろう会」と
「C&Oオレンジリボンウッド」は、新
型コロナウイルスによる感染拡大予防
のため、当面開催を中止とさせていた
だいております。令和4年度、介護の資格講座「介護職
員初任者研修」「介護福祉士実務者研
修」申込みを付けております。詳細
はホームページ「浴風会ケアスクール
のお知らせ」からもご覧いただけます。
お気軽にお問合せください。(鈴木)令和4年度、介護の資格講座「介護職
員初任者研修」「介護福祉士実務者研
修」申込みを付けております。詳細
はホームページ「浴風会ケアスクール
のお知らせ」からもご覧いただけます。
お気軽にお問合せください。(鈴木)ボランティアや就職・家族の介護にも
役立つ介護の資格!

7月開講受講生募集中

*介護の基礎から
しっかり学びたい方**将来「介護福祉士」を
目指す方*介護職員
初任者研修介護福祉士
実務者研修週1回火曜日コース
スクーリング13回
+通信添削課題週1回木曜日コース
スクーリング10回
+通信添削課題お得な助成制度もあります。
詳しくはお気軽にお問合せください。●浴風会ケアスクール
☎03-3334-2149 (平日9～17時)
E-mail: kenshuu@yokufuukai.or.jp

【老人福祉事業】

浴風園

(養護老人ホーム)

1月

1日 元旦祝い

膳。1年の始まりを
皆様と一緒に祝い
し、お節料理を召し
上がりしました12日 初詣。近隣
の第六天神まで、
利用者と一緒に初詣
に出掛けました。今年一年、コロナ禍
を乗り越え良い年になるようお祈りい
たしました。14日 ボランティア表彰。毎日園庭
の落ち葉掃き掃除、園内共有部の掃除
等された方に、感謝の気持ちを込めて
表彰しました。

2月

3日 節分。昼食時食堂で、職員が
鬼に扮し厄除けを行いました。年男
女の方は園長と記念撮影をしました。2日 クラブ作品
展示会。大ホールに
てご利用者が作成し
た折り紙クラブ・創
作クラブ・陶芸クラ
ブ・書道クラブ等の
作品を展示し、観覧
しました。3日 ひな祭り。玄関口に豪華な7
段飾りのひな人形を飾りました。皆様
立ち止まり、見入っておりました。

(徳増)



松風園

(軽費老人ホーム)

1月

1日 元旦祝膳。コロナ禍の中の元
旦となりました。例年の演芸のご披露
や初詣は行わず、祝膳にお箸をつけ
ただく、園長より言祝ぎのご挨拶を
申し上げて新年のお祝いをいたしました。

2月

3日 節分会。昨年に引き続き、コ
ロナ対策の中での節分となりました。
例年は食堂にいらしてくださった全
員で豆まきを行うのですが、今年は年
男女の方に袴をつけていただき、代
表となつて豆をまき鬼打ちしました。8日 針供養。食堂前に小さな「松
風神社」を置き、お豆腐を供えて針を
刺していただきました。裁縫をされな
い方も興味深げに眺めていらつしや
いました。

3月

3日 桃の節句
(ひな祭り)。渡り廊
下には愛らしいつる
しびなを、集会室の
前には例年どおり男
雛と女雛の雛人形を
飾りました。(藤原)

2月

3日 桃の節句
(ひな祭り)。渡り廊
下には愛らしいつる
しびなを、集会室の
前には例年どおり男
雛と女雛の雛人形を
飾りました。(藤原)

訃報

当会参与・元松風園長の渡邊正雄氏に
は、去る12月23日、病氣療養中のところ、
ご逝去になられました(享年83歳)。謹
んでご冥福をお祈りいたします。

浴風会ケアハウス

1月

1日 元旦祝会

5日 第六天神初詣

28日 体力測定 コロナ禍で実施を見送り検討していましたが、「骨の強さ」の測定も新たに加えて再開しました。

2月

3日 節分会。

恵方巻・福豆

14日 カフェケ

アハウス・バレンタイン



3月

3日 ひな祭り にぎり寿司食べ放題

題

14日 カフェケアハウス ホワイト

デー お菓子店のお洒落なシュークリームをご用意しました。

「素敵なハンドメイド」で作った品を近隣の小学校・の児童の皆さまに贈りました。

◆入居説明会の受付について

感染症の流行と現状の感染症対策から、令和4年度上半期の受付は行わないことといたしました。下半期につきましては、今後の状況を見ながら9月頃にホームページにてお知らせいたします。

(尾瀨)

【介護保険事業】

南陽園

(特別養護老人ホーム)

1月

1日「新年祝い会」を行いました。お雑煮・おせち料理など豪華な食事を楽しみ、午後は南陽神社に初詣。健康で楽しい一年になりますように。

2日「書き初め」を行いました。

2月

3日「節分会」を行いました。鬼に扮した職員めがけ豆をまき厄払いをしました。

3月

3日は「ひな祭り」でした。各フロアには立派なひな壇が飾られています。ご利用者のみなさま、ひな祭にまつわる昔話に花を咲かせました。

20日「デザートバイキング」を行いました。たくさんあるケーキやプリンの中から好きな物を選び、美味しかったです。

(丸山)

東京都共同募

金会の配分金交付により、念願

の老朽化した特殊浴槽1台の更新できました。

この度のご寄

付者の温情に感謝いたします。



南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

1月

南陽園1階に設けられた手作りの神社で初詣をし、皆様の健康を祈りました。また、書初めも行ない、お手本を見ながら達筆に仕上げていらっしゃいました。

2月

3日 節分。無病息災を願って、豆まきを行ないました。

「鬼は外、福は内」と元気に鬼を撃退しました。

3月

園内の河津桜が満開になったので、お花見をしました。この日は20度を超える暖かさで、久しぶりの園内散歩に皆さん喜んでいらつしやいました。

(栗山)



●現在、利用者を募集しております。

全曜日に空きがございますので、デイサービスご利用を検討中の方は、ぜひお気軽にお問合せ下さい。見学も随時お受けしております。

電話03-3334-2743

第二南陽園

(特別養護老人ホーム)

1月

1日 新年祝い会を行いました。今年度もコロナ禍で初詣に行くことが出来なかったため、利用者スタッフと一緒に作成した「第二天神」にお参りをしました。



14日 浴風会創立記念で、16名の利用者ボランティアの方々に日頃の感謝を込め園長より表彰状・記念品をお渡ししました。

創作活動は、節分に向けて、段ボールで「鬼」を作りました。

2月

3日 節分を行いました。段ボール鬼にめがけ力強く豆をまき、無病息災を祈りました。

20日 第二開園記念日では、園長のあいさつ・お取り寄せおやつを行いました。

3月 各フロアでお楽しみ会を実施しました。

(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

1月

4日 新しい年の始まりです。毎年恒例の初詣は昨年より好評をいただいていた「第二天神」でした。



2月

3日 節分の会を開催しました。今年の鬼は去年の鬼よりも元気で活力的でした。皆さんの力を合わせ、ピーナッツを投げて鬼退治と無病息災を記念しました。

3月

3日 ひな祭り。お雛様と梅の花を愛でながら暖かな春の訪れに思いを馳せました。

デイサービスでは利用者を募集しております。ゆつくりと一日を過ごせる場所をお探しの方、同世代の方々との交流をご希望の方々はぜひご検討ください。

ご見学やお問い合わせは随時お受けしておりますので、ご担当のケアマネジャー様にご相談いただくか、直接当施設までお問い合わせください。どのようなことでもお気軽にご相談ください。職員一同お待ちしております。

03 (3334) 2140

(限本)

第三南陽園

(特別養護老人ホーム)

1月

1日 新年祝会。今年の元旦は久しぶりに利用者にお正月飾りで彩った広いリビングにお集りいただきました。職員と共に勢ぞろい、寅年の年女年男を紹介しつつ、利用者は伝統のおせち料理とお雑煮に舌鼓をうち、穏やかな元旦を満喫されました。

14日 法人創立記念式典。浴風会は今年で97周年を迎えました。日頃、エプロンたたみなどボランティア活動をして下さっている利用者の方に園長からお礼の品と感謝状をお渡ししました。

19日 スープ選択食。当日選択食として、寄せ鍋のスープの味を、ぽんず醤油・豆乳味噌・トマトチーズの3種類からお好きな味を選んで召し上がりました。「全部味見したい」というリクエストもあり、様々な寄せ鍋を楽しみました。

3月

18日 四季の花々展覧会。作業活動を通じてご利用者がおりがみで制作した作品をフロアに展示しました。四季の花々を題材に毎月制作を行い、月を象徴する12作品が出来上がりました。ご利用者からは「ここのだけ別世界!! 素敵ね」と毎日心行くまで作品を鑑賞されました。

(佐々木)



グループホームひまわり

1月

元日 豪華なおせち料理で新年のお祝いをしました。午後は「初釜」椿の可愛らしい練りきりと一緒にお抹茶を点ていただきました。

2・3日 書初めやカルタなどお正月の遊びを楽しみました。

7日 春の七草を刻んでお粥に入れて、長寿や無病息災を願いました。

11日 鏡開きを行いました。ひまわり特製鏡餅をたいて開いて、その日のおやつでは、白玉でお汁粉作りを行いました。

12日 「向日葵神社」に初詣をしました。今年はエレベーターホールに神社を建立して、初詣週間として10日間楽しみました。

2月

3日 「節分会」を開催し、今年のご利用者全員が袴を纏い、鬼退治へ出陣しました!! 「鬼は外」、福はうち」と豆をまき大変盛り上がりしました。

3月

3日 ひな祭り 可愛いお雛様を飾り、記念撮影をして「子供が小さい時に飾っていたね」など昔話に花を咲かせました。

23日 お彼岸のぼた餅作りをしました。利用者のあんこやきなこをくるむ手さばきは見事でした。(谷口)



【地域サービス事業】

地域包括支援センター

ケア24高井戸

1月

12日 「上高井戸端」定例会参加

31日 高井戸小認知症サポーター養成講座

2月

7日 「介護者ひろば」参加

8日 ステップアップ講座チームオ

レンジ高井戸

22日 地域ケア会議開催

24日 事業所連絡会オンライン開催

3月

1日 いちの会開催(ケアマネ交流)

10日 きずなサロン「かりん」参加

11日 協働プラザ交流会参加

15日 杉の樹大学講座

23日 「ふじみがおか」地域を考える会) 開催 (尾関)

よくふう保育園

1月

1月 風あげ・正月遊び

2月

3日 節分

3月 卒園式



【病院事業】

浴風会病院

★区民健康診査

杉並区の区民健康診査が6月から始まります。(5月下旬に受診券が区から発送される予定です。)

6月1日から当院での予約の受付開始を予定しておりますのでご利用ください。

★新型コロナワクチン接種

新型コロナウイルスワクチンの追加(3回目)接種は引き続き、杉並区予約サイトを利用しての予約で実施しております。杉並区民の予約等につきましては、杉並区新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターで一括して行われますので、杉並区ホームページもしくはお電話でご確認ください。

電話…0120-023-015

(多胡)



令和3年度
「東京都教育委員会事業貢献企業等」として、
東京都教育委員会より
感謝状をいただきました!!

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

1月

元旦 新年会開催。着物を着て記念撮影、職員による瓦割りを鑑賞、昼食はおせち料理、おやつは上生菓子を召し上がった。

2月

節分。節分にちなんだ和菓子を提供しました。

3月

ひなまつり。
ぬいぐるみのおびなどめびなを抱いて記念撮影をしました。

(森屋)



★ご利用のご相談など、お問合せは随時受け付けております。相談員までお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701 【代表】
◎03-5336-7734 【入所】
◎03-5336-7704 【デイ】

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

1月

5日…センター内研修 厚生行政研修その1
13日…センター内部研修 厚生行政研修その2

14日…運営会議 (Zoom)

18・19日…第8回 新任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 223名修了

20・21日…第8回 現任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 79名修了

19・21、24・25日…認知症介護指導者フォローアップ研修第1回 11名修了

28日…認知症地域支援体制推進全国合同セミナー

2月

14日…運営会議 (Zoom)

16日…老健事業委員会 (Zoom)

17日…センター内部研修 厚生行政研修その3

18日…すいしんいんセッション

21・25日…認知症介護指導者フォローアップ研修第2回 10名修了

25日…安心して外歩きを楽しめるまちづくり全国フォーラム

28日…セキリティ研修

3月

3日…生協事業委員会 (Zoom)

4日…運営会議 (Zoom)

9日…ヘルプカード報告会

14日…運営会議 (Zoom)

10日…老健事業委員会 (Zoom)

14日…運営会議 (Zoom) (福島)

ご芳志

令和3年12月から令和4年3月
多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございました。

〈金品・物品〉

【12月】高田敬輔様

【1月】萩原ヨシ子様、宗教法人大日然

教様、株式会社グレイプストーン様、ゆ

うゆう高井戸西館様

【3月】狩野治男様

ほか、各施設にもいただいております。

長い間お勤めいただき
ありがとうございました。



令和4年3月31日定年等退職記念

《次号は令和4年7月発行予定》
〒168-8510 ※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
sounu2@yokufukai.or.jp
https://www.yokufukai.or.jp/